

異常気象及び被害地域表

(決定額100億円以上：補助)

災害区分 発生月日	気象概況	雨量・震度等	主な被災地
豪雨及び暴風雨 (台風第4号) 平成25年6月8日～ 平成25年8月9日	7月26日から8月3日にかけて、日本付近に暖かく湿った空気が流れ込んだことにより、西日本から北日本の広い範囲で大気の状態が非常に不安定となり、局地的に非常に激しい雨が降った。特に28日午前中を中心に、島根県と山口県では日降水量が多いところで350ミリを超え、7月の月降水量平年値以上となる記録的な大雨となった。 また、8月9日は東北地方に日本海から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となったため、岩手県盛岡地域を中心に昼前から夕方にかけて猛烈な雨が降り、記録的な大雨となった。	(日降水量) <山口県> 須佐 351.0mm (7/28) 徳佐 324.0mm (7/28) <岩手県> 雫石 264.0mm (8/9) 紫波 211.0mm (8/9) <山形県> 大井沢 212.0mm (7/18) <島根県> 津和野 381.0mm (7/28)	山口 岩手 山形 島根
豪雨 平成25年8月23日～ 平成25年8月25日	8月23日から25日にかけて、西日本をゆっくり南下した前線に向かって、南海上から暖かく湿った空気が太平洋高気圧の縁を回って流れ込んだため、大気の状態が非常に不安定となった。島根県西部では、24日の明け方と25日の明け方に猛烈な雨が降り、24時間降水量が多いところで400ミリを超え、8月の月降水量平年値の約3倍の記録的な大雨となった。	(日降水量) <島根県> 桜江 413.5mm (8/24) 瑞穂 273.5mm (8/24) 福光 225.0mm (8/24) 高津 239.0mm (8/25)	島根
暴風雨及び豪雨 (台風第18号) 平成25年9月15日～ 平成25年9月17日	9月13日3時頃に小笠原諸島近海で発生した台風第18号の接近・通過に伴い、四国から北海道の広い範囲で大雨となった。また、九州から北海道の各地で暴風となり、竜巻等の突風も発生した。 9月15日から16日までの総雨量は、三重県宮川で575.5ミリとなるなど、近畿、東海地方を中心に400ミリを超えたほか、統計期間が10年以上の観測地点のうち、最大1時間降水量で計13地点、最大24時間降水量で計35地点が観測史上1位を更新した。また、風速についても計5地点で最大風速の観測史上1位を更新した。	(日降水量) <京都府> 睦寄 309.5mm (9/16) 京北 286.5mm (9/16) 園部 285.0mm (9/16) <滋賀県> 朽木平良 469.0mm (9/16) 土山 334.5mm (9/16) <岩手県> 岩手松尾 169.5mm (9/16) <長野県> 浪合 263.5mm (9/16) <三重県> 宮川 493.0mm (9/16) 笠取山 421.0mm (9/16)	京都 滋賀 岩手 長野 三重